

# 試験の構成と認定の目安

## 試験科目と試験時間・得点区分と得点の範囲

試験を受けるときの試験科目は、左の表「試験科目と試験時間」のとおりです。

試験の結果をもらうときの得点区分は、右の表「得点区分と得点の範囲」のとおりです。

● 試験科目と試験時間

レベル	試験科目	試験時間
N1	言語知識(文字・語彙・文法) ・読解	110分
	聴解	60分
N2	言語知識(文字・語彙・文法) ・読解	105分
	聴解	50分
N3	言語知識(文字・語彙)	30分
	言語知識(文法)・読解	70分
	聴解	40分
N4	言語知識(文字・語彙)	30分
	言語知識(文法)・読解	60分
	聴解	35分
N5	言語知識(文字・語彙)	25分
	言語知識(文法)・読解	50分
	聴解	30分

● 得点区分と得点の範囲

得点区分	得点の範囲(尺度得点)
言語知識(文字・語彙・文法)	0~60点
読解	0~60点
聴解	0~60点
言語知識(文字・語彙・文法)	0~60点
読解	0~60点
聴解	0~60点
言語知識(文字・語彙)	0~60点
言語知識(文法)・読解	0~60点
聴解	0~60点
言語知識(文字・語彙)	0~120点
言語知識(文法)・読解	0~60点
聴解	0~60点
言語知識(文字・語彙)	0~120点
言語知識(文法)・読解	0~60点
聴解	0~60点

試験科目と得点区分との対応は、二つの表を左から右へ見てください。

N1とN2では、一つの試験科目の「言語知識(文字・語彙・文法)・読解」が、得点区分では「言語知識(文字・語彙・文法)」と「読解」の二つに分かれます。

N3では、二つの試験科目の「言語知識(文字・語彙)」と「言語知識(文法)・読解」が、得点区分では「言語知識(文字・語彙・文法)」と「読解」に分かれます。

N4とN5では、二つの試験科目の「言語知識(文字・語彙)」と「言語知識(文法)・読解」が、得点区分では「言語知識(文字・語彙・文法)・読解」の二つに分かれます。

「聴解」は、試験科目と得点区分とが、どのレベルでも一致しています。

レベルによってちがいがあるのは、各レベルの学習段階の特徴に合わせて、より正確に日本語能力が測れるようにしているためです。

## 認定の目安

各レベルの認定の目安は下の表のとおりです。「読む」、「聞く」という言語行動で表しています。

表には書かれていませんが、これらの言語行動を実現するための言語知識も必要です。

レベル	認定の目安
N1	<p>幅広い場面で使われる日本語を理解することができる</p> <p><b>よ読む</b> ・幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。</p> <p>・さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。</p> <p><b>き聞く</b> ・幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。</p>
N2	<p>日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる</p> <p><b>よ読む</b> ・幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。</p> <p>・一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。</p> <p><b>き聞く</b> ・日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。</p>
N3	<p>日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる</p> <p><b>よ読む</b> ・日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。</p> <p>・新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。</p> <p>・日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。</p> <p><b>き聞く</b> ・日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。</p>
N4	<p>基本的な日本語を理解することができる</p> <p><b>よ読む</b> ・基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。</p> <p><b>き聞く</b> ・日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。</p>
N5	<p>基本的な日本語をある程度理解することができる</p> <p><b>よ読む</b> ・ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な文や、文章を読んで理解することができる。</p> <p><b>き聞く</b> ・教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。</p>